

会 議 録

1 会議名

令和5年度第1回八千浦区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】「地域活性化の方向性」について（公開）

3 開催日時

令和5年4月28日（金）午後6時30分から午後7時30分

4 開催場所

八千浦交流館はまぐみ 多目的室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 仲田紀夫（会長）、大島 進（副会長）、伊倉幹夫、笠原 武、
笠原幸博、羽深栄一、平野和夫、柳澤 篤、渡辺孝三郎、渡邊修一
（欠席者2名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：佐藤所長、近藤副所長、小川係長、丸山主任

8 発言の内容

【近藤副所長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【仲田会長】

- ・挨拶
 - ・会議録の確認：柳澤委員、渡辺委員に依頼
- 議題【協議事項】地域活性化の方向性について、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

- ・資料No.1 「八千浦区における『地域活性化の方向性』（案）」に基づき説明

本日の会議では、事務局が作成した案をたたき台として、内容の是非や、文言修正の要否などについて、委員の皆様で御協議いただきたい。また今後、地域活性化の方向性を地域協議会として決定していくまでの進め方についても、御協議いただきたい。

【仲田会長】

説明があった地域活性化の方向性について、事務局案に意見、質問を求める。参考資料No.1は、前回委員の皆さんから提出されたものを、要約したと説明があったため、要約してワンフレーズにすることでもよい。参考資料2では、概ね地域特性がキャッチフレーズの中に入っている。海岸線が長い地域は、谷浜・桑取、直江津、八千浦、大潟、柿崎である。この八千浦が、海を中心とした豊かな自然と歴史・文化、地域の絆とまとめて表現されているが、この辺の文言整理について、御意見をいただきたい。

【伊倉委員】

参考資料No.1と比べて、今回の案のほうが堅苦しくなく、やわらかい感じになっており、これでよいと思う。

【仲田会長】

キャッチフレーズが二つのテーマに書かれているので、前段はまとまっていてよいのではないかという意見があった。「世代を超えて交流し」以降について意見を求める。

【羽深委員】

参考資料No.1については、今まで出された意見がきちんと整理されており、方向性の案についても、それを踏まえて要約してある。キャッチフレーズも、前段から後半にかけての流れが、非常によく繋がれていかされている。構成要素も意見が要約されており、これでよいと思う。

【仲田会長】

キャッチフレーズとその下の5点の構成要素の繋がりや、もう少し具体的にする、簡略化する等意見はないか。

【大島副会長】

私たちの提出したデータ、要素が上手にまとめられており、よいと思う。キャッチフレーズは、「八千浦区の海を中心とした」となっているが、柿崎地区のキャッチフレーズと比較するとインパクトが弱いと感じる。参考資料No.1の皆さんの意見では、海ではなく海岸線という表現が5件ある。「八千浦区の海岸線を中心とした」という表現のほうが、個性が出るのではないか。

【仲田会長】

海について今まで議論した中で、浜辺で熱い砂という話や、最近海に入るような子供もいないという意見も出ていた。海よりも、もっと具体的に、浜辺や海岸線という話が出た。その辺はどうか。キャッチフレーズの中で、構成要素も含めて考えたほうがわかりやすいと思う。構成要素の最初に海・砂丘・防風林の保全活用、火力発電所の夜景と具体的に出ている。キャッチフレーズを海との関係にするのか海岸線にするのか、海辺にするのか。その辺について意見はないか。この会議でキャッチフレーズは成文化までするのか。

【丸山主任】

まず事務局案を委員の皆様で御協議いただいた後、今後の進め方について御協議いただきたい。他の地域では、地域協議会としての案を作成後、地域の関係団体との意見交換会を開催して、協議会が作成した地域活性化の方向性について意見を求め、成案としてまとめている地区もある。そういった今後の進め方については、この次に委員の皆様から改めて御協議いただきたい。

【仲田会長】

了解した。今日は地域協議会としての案を成文化するのではなく、他の地区で行っている、関係団体や地域住民と意見交換をして、最終的に決定をしていくというやり方も参考にしながら意見をいただき、今後の進め方に入っていきたい。前回、八千浦地区明るい町づくり協議会との意見交換や、一緒に進めるなどいろいろな意見が出たが、我々だけで決める方法もある。これにさらに肉を付けて、よりわかりやすく、より実施しやすいような方向性もある。原案は原案としてたたき台はたたき台として、これを当協議会の案として地域の関係団体等と、意見交換をして、進めていくというような方向性も出された。その辺を踏まえて意見をいただきたい。

【柳澤委員】

今の案は漠然としているため、明るい町づくり協議会の時に、現状の説明と意見交換をすれば、またより一層具体的な方向性が取れるのではないかと。

【仲田会長】

八千浦地区の特徴として、今まで明るい町づくり協議会が中心となり、いろいろな事業、あるいはイベント等をやってきた経緯がある。柳澤委員から、より中身を深めていくには明るい町づくり協議会との意見交換会を行ったほうがよいのではないかと意見が

あったが、他に意見はないか。

【笠原武委員】

明るい町づくり協議会を中心にするのはよいが、ある程度年齢の若い方の意見を取り入れたほうがよいのではないか。

【仲田会長】

少し若い世代の意見も反映させるという意見があったが、他に意見はないか。

【大島副会長】

前回の地域協議会の終わりに思ったが、皆さんからの意見では、次世代や若い世代という、声が多かった。笠原武委員も言われたが、これだけの材料があるのならば、最終的に中学生を交えて、キャッチフレーズや構成要素、意見を出してもらったほうが、斬新なアイデアが出るのではないかと思う。私たちは、年齢層が上のほうなので、やわらかい頭で、次世代を担う八千浦区の中学生からも意見を聞いてみたい。もしかしたら、すごくいい案が出ると思うし、いい案が出ることを期待したい。

【仲田会長】

具体的になってきた。地域の団体、明るい町づくり協議会、中学生との協議をしても、文言に少し修正を加えるところがないか。或いは事務局がまとめた案でいくか、整理をしていきたい。中途半端で議論しても我々の主体性がなくなる。キャッチフレーズの「海」については、漠然としているので「海岸線」としてはどうかという意見が出たが、これはどうか。

【笠原武委員】

キャッチフレーズは、海岸線の意見が多いので、海岸線としたほうがよいのではないか。

【仲田会長】

他に意見はないか。世代を超えた交流も若い人たちと議論して変更する要素としては、あると思う。キャッチフレーズは「海」よりも「海岸線」という賛成意見が出たが、「海岸線」でよいか。

(委員賛同)

「八千浦区の海岸線を中心とした」という表現に修正していただきたい。「世代を超えて交流し、暮らす人や訪れる人の笑顔があふれる明るいまちを目指します。」は、参考資料No.1を見ても、うまくまとめてあると思われるが、これはよいか。

(委員賛同)

「世代を超えて交流し、」以下については、事務局案の通りのキャッチフレーズとする。構成要素については、今後、どのような団体と意見交換を行うか。これも皆さんの意見からピックアップしたので、これはこれとして意見を聞き、最終の構成要素を決めるという方法でもよいと思うがいかがか。地域独自の予算の中で海まつりの事業が採択されている。これから海まつりについての企画委員会が開催されると思われるので、その人たちと意見交換することで幅が広がるのではないか。その中では明るい町づくり協議会が中心となっている。部会もあるので明るい町づくり協議会と相談をしていきたい。中学生は、八千浦中、八千浦地区の今後について考える中学生まちづくりワークショップの事業がまだ生きている。新型コロナウイルス感染症の関係で、取組がストップしているが、これを掘り起こして、中学生との意見交換はあった方がいいと思うが、意見はないか。

【羽深委員】

世代交代の交流を考えると、中学生や高校生の意見を聞く機会が必要だと思う。それに加えて、女性の意見も聞いて取り入れるということも必要ではないか。今、世間ではジェンダーレス、男女の差別なくという時代になってきている。中学生高校生は、女子生徒も参加してくれると思うが、それ以降の青年、壮年、それ以上の世代中で、女性は制約等があり、参加してもらえないという意見を聞くことが多い。八千浦地区というのは、男女の割合が同程度と思うので、女性の参加も大事ではないか。

【仲田会長】

明るい町づくり協議会の各部会の構成員は各町内から推薦されているので、女性が多いと思われる。ジェンダーフリーの観点からも、明るい町づくり協議会へは、男女同数程度で、出席を要請する方法もある。中学生はワークショップの経験がある人はいないし、顧問の先生もわからないと思う。学校と話をすれば、意見交換ぐらいはできるのではないか。海まつりについては学校関係者も出てくると思うので、先に明るい町づくり協議会と協議し、どのような団体、住民と意見交換をするか決めるほうが、やりやすいのではないかと思うがいかがか。事務局は八千浦地区明るい町づくり協議会をわかっている人はいないと思われるので、これを機会に明るい町づくり協議会と北部まちづくりセンターをつなぐこともよいことかもしれない。出席者は、中学生、女性、高校生、明るい町づくり協議会。明るい町づくり協議会は海まつり実行委員会の構成員に入ってい

と思うし、中学生も入っているため、明るい町づくり協議会と意見交換会を行う。出席要請としては、年代層は若年からお年寄りまで、中学生、女性として意見交換会をやるということではいかがか。構成要素の5点は、ほとんど皆さんが出された意見が入っているので、文言整理については意見交換をやった後でもできる。

【柳澤委員】

明るい町づくり協議会は八千浦地区の実働部隊なので、意見交換をしたらもっといい意見が出ると思う。ぜひ実現して、意見交換をしてみたい。

【仲田会長】

意見交換会の対象としては、あれもこれもとなると大変幅広くなるため、明るい町づくり協議会を窓口として開催するというところでよいか。

(委員了解)

事務局と明るい町づくり協議会の事務局で話をさせていただきたいが、柳澤委員は明るい町づくり協議会の会長でもあるため、スムーズにいくと思う。

(委員了解)

キャッチフレーズは八千浦区の海岸線を中心の部分を変更したい。構成要素は、意見交換会の後、変更があると思うが、現段階では事務局がまとめた案でいくということではよいか。意見交換会については、窓口を八千浦地区明るい町づくり協議会とする。明るい町づくり協議会に対して、今日出されたような意見を構成員としてお願いをして、明るい町づくり協議会の委員の中から、御出席をいただく。海まつりが関係してくるので、明るい町づくり協議会にお願いをする、これでよいか。

(委員了解)

これに従い、今後の進め方を決めていきたいが、事務局意見はないか。

【丸山主任】

後程、明るい町づくり協議会会長を務められている柳澤委員と、また、協議会の事務局と連絡体制などを設定したい。事務局にて検討後、委員の皆様には改めて御案内をさせていただきます。

【仲田会長】

明るい町づくり協議会の総会は5月中にあると聞いている、意見交換会の時期は特に決まっていないか。

【丸山主任】

この地域活性化の方向性について期限は決まっていない。しっかりとした議論の上で作成いただきたい。

【仲田会長】

時間をかけて、素晴らしいものを作り上げていきたい。今年は地域独自の予算の執行1年目のため、やり方も変わってくると思われる。明るい町づくり協議会と事務局が調整を行い進めていくということで、今日決定をさせていただきたい。

【柳澤委員】

具体的な交換会は今のスケジュールでは、5月15、6日前後に各部会が終わる。その提案をもって総会とするので、総会は5月末と考えている。5月末の総会后に、海まっりの企画委員会を予定しているため、6月になると思われる。総会の時に、今日の地域協議会の意見交換会の話も、皆さんにお伝えして、話がスムーズに行くようにしておきたいと思っている。

【仲田会長】

できれば事務局と明るい町づくり協議会の事務局で相談をして、各部会が開催される時に、今日の話提案したほうが、部会としても話がわかりやすくなる。メンバーをお願いするにしても、今三つの部会があるが、部会が開かれる時に依頼内容を、総会の中で話をしていただければ、具体的な話が進むと思うので、その辺は調整をお願いしたい。

【丸山主任】

そのように明るい町づくり協議会の皆様と、調整をしたいと思う。

【仲田会長】

議題についてはその方向で今後進めていきたいと思う。

【平野委員】

この地域活性化の方向性が最終的に決まった後は、どのように進む予定か。

【仲田会長】

当初の説明では具体的な事業展開に入り、地域独自の予算の予算要求につなげていく。そこまでは、この地域活性化の方向性は出ていたが、それ以降についてはどうなっているか。

【佐藤所長】

地域活性化の方向性を決めていただくと、八千浦区の将来像の道しるべになるのでは

ないかと考える。それに沿って、地域独自の予算へ事業展開していく。または地域協議会では、今までに多くの自主的審議事項を考え、地域の課題について検討し、解決していただいている。それらの道しるべにもなり、将来的に、この先10年20年30年先の八千浦区の将来像を決めるようなテーマが、今回の地域活性化の方向性であり、そこに向かって進んでいく形になるかと思う。今日、地域活性化の方向性も検討いただいたので、具体的にはそれに沿ってまた議論をいただきたい。

【仲田会長】

具体的に事業として展開できるような中身に熟していけば、八千浦の方向性がしっかりと出るので、ぜひそこまで行けるように皆さんから御努力いただきたい。残された時間は1年だが、頑張ってください。その他事務局から何かあるか。

【丸山主任】

教育総務課から報告させていただく。自主的審議事項として、八千浦中学校の雨漏りの対応について議論があった。前回の地域協議会では、令和5年度当初予算に、その改修にかかる経費を予算要求していると説明させていただいた。この予算要求していたものが、議会で議決を得て予算成立した。令和5年度については、設計を業務委託し、その後、順次改修工事に入っていく計画である。また改修工事の時期、年度について他の学校との優先順位等があるので、教育総務課で設計完了次第、別途予算要求を進め、順次改修工事をさせていただく予定である。

【仲田会長】

議決されたということは、具体的に一步前進したということになる。予算執行の段階で、また皆さん方から御意見をいただきたい。

(意見なし)

事務局から何かないか。

【丸山主任】

本日の協議により、意見交換会について、明るい町づくり協議会の事務局と詰めさせていただきながら、また会長とも相談しながら、次の意見交換会の場の設定等を整理した後、改めて御案内をさせていただく。

【仲田会長】

では、次回の協議会について、今日は決定をしない。意見交換会については、明るい町づくり協議会の事務局との日程調整等が決まった後、皆さん方に連絡をするというこ

とでよいか。他に何かないか。

海まつりの予算が通り、補助金の交付申請を行うということになっている。この中で、具体的に地域活性化の方向性も議論できるのではないかと思うので、また皆さんよろしくお願いしたい。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。